

## エピソード

園庭の隅に大きなビワの木があり、今年もたくさんの実をつけた。木の下の方の実はすぐ子ども達が採ってしまい残っておらず、高い所のビワの実は手を伸ばしても届かない。

A 児と B 児は木を見上げながら採れそうな実を探している。目ぼしい実を見つけると「あ、あそこなら採れそう」と言って収穫かごをひっくり返し、足台にした。足場がぐらぐらしないか確認したあと A 児が台の上になり、B 児が台を支える。A 児は必死で腕を伸ばして採ろうとするが実までは手が届かない。B 児は「A ちゃん、ちょっと待ってて」と言うと虫捕り網を持って戻ってきた。「先生、台、持っという」といって、B 児は網で枝をたぐりよせた。「A ちゃん、早く実、採って!」と B 児が言うと A 児が腕を伸ばして実をもぎ採った。「やった」「採れた」と嬉しそうな表情で二人は実を見つめていた。

「その実、どうするの?」と保育者が聞くと、「トカゲの餌にするねん」といって、二人は飼育コーナーへ走って行った。

採れないな…  
どうしようか



僕がひっぱるから  
A ちゃん採って!

もうちょっとで  
採れそう…

採れた!



## 保育者の思い

- ・「手の届かない場所のビワの実をどうしても採りたい」「どうすればいいか?」自分たちなりに考えながら目的を達成して欲しい。
- ・採ることができそうな高さ、安定を確保できる場所など、空間や位置を考えながら取り組む姿を見守る。
- ・子ども同士で考え進めていく姿を大切にしていきたい。
- ・必要な道具をどのように使えばいいか、これまでの経験から得た知識を活かしながら取り組んで欲しい。
- ・友達と思いや考えを出し合いながら、目的をもって取り組む楽しさや、達成感を互いに感じて欲しい。

## 子どもの育ちや学び 【幼児期において育みたい3つの資質能力】

## 知識及び技能の基礎

- ・高いところに手が届くようにするために、収穫カゴを足台にする。(技能の獲得)
- ・不安定にならないように足台を支えている。(身体感覚の育成)
- ・沢山あるビワの中から、自分たちが取れそうな場所にあるビワを選んでいる。(様々な気づき)

## 思考力判断力表現力等の基礎

- ・高い場所の実を採るために、虫捕り網を使おうとする。(予想、工夫)
- ・どの高さなら届くことができるか、下から見上げながら判断している。(空間の認知)
- ・足台を使う際に、安定感のある場所を選び、確認している。(予測、確認)
- ・ビワを採るための方法や、採れた喜びを言葉で伝え合いながら共有している。(言葉による伝え合い)
- ・採った実をトカゲの餌にしようと、見通しを持って活動に取り組んでいる。(次への見通し)

## 学びに向かう力人間性等

- ・足場の支えを保育者に頼み、手伝って欲しいと伝えている。(話し合い、目的の共有)
- ・2人で言葉を交わしながら、協力して、ビワの実を採ろうとする。(協力)
- ・1人ではできないことも友達と協力することで、実現できている。(安定した情緒、自信)